

(様式2)

校種	小・中 どちらかに○	学校番号	58	学校名	宇都宮市立西が岡小学校
----	---------------	------	----	-----	-------------

## 平成31(2019)年度 学習指導に関する取組

### 1 学習指導上の主な実態

#### (1) とちぎっ子学習状況調査から

・国語では、5年生で「掲示物の内容に合う資料を選ぶ」問題の正解率は、70.0%で、県の平均より6.1ポイント低い。また、4年生で「メモや友達の意見を基に、報告レポートの内容を書く」問題の正答率は20.9%で、県の平均より13.1ポイント低い。4年生の同じ問題の無回答率は38.8%で、県の平均より16.7ポイント高い。

長文を読むことに抵抗があり、問題文を最後まで読み通すことが難しく、問われていることを理解せずに回答している児童が見られる。説明文の事実や筆者の考えを読み取ったり、物語文から登場人物の気持ちを考えたりすることに困難さを感じている児童が多い。

・算数では、「何倍かを求める」問題で、県平均より5年生で13.0ポイント、4年生で19.8ポイント低い。また、「数直線上の矢印の値を表す数を分数で表す」問題で、県平均より5年生で16.8ポイント低い。

計算の誤りが目立ち、基礎的・基本的事項が理解できていない児童が多い。5年生の図形領域の平均正答率は76.0%で、県の平均より9.5ポイント高く、良好な面が見られた。

#### (2) 学習と生活についてのアンケートから

・休日の学習時間についての質問で「ほとんどしない」「10分くらい」と回答している児童の割合が市の平均より高い学年が多い。

・「先生や友達の話最後まできちんと聞いている」「先生から指されたら返事をしている」と回答している児童の割合はどの学年も90.0%以上であった。学習のルールは意識付けられてきている。

・「授業で習ったことを分かりやすくノートにまとめている」と回答している児童割合は、低学年では肯定割合は80.0%以上であるが、中・高学年では市の平均を10%程度下回り、70.0%程度である。

・家庭で「自分から進んで勉強している」「自分で計画を立てて家庭学習に取り組んでいる」と回答している児童の割合が市の平均より低い学年が多い。

#### (3) 授業等への取組状況から

・体験的な活動に意欲をもって取り組む児童が多い。

・決められた課題には、真面目に取り組もうとする児童が多い。

・2～4人程度の少人数での話し合いは慣れてきたが、自分の言いたいことを正確に伝えたり、相手の気持ちや意図を正確に聞き取ったりすることに消極的な児童が見られる。

・習得した知識・技能を活用して課題を解決したり、粘り強く最後まで取り組んだりする態度は十分とは言えない。

・各教科における基礎的・基本的な内容の習熟についての個人差が大きい。

## 2 今年度の重点目標

・児童の実態や特性を踏まえた分かる授業を展開し学習意欲の向上に努めるとともに、家庭学習の習慣化を図り基礎学力の定着に努める。

## 3 今年度の取組（「学校教育スタンダード」に関する取組は文頭に★、「平成31年度指導の重点」に関する取組は文頭に□、授業における取組のうち重点は文頭に○）

### (1) 分かる授業を目指した授業力の向上

○「西が岡スタイル（つかむ、考える・つなぐ、まとめる、ふりかえる）」を取り入れた授業の実施

□どの児童にも分かりやすい授業展開の工夫

★課題提示、教材提示、発問の工夫

- ・学習した経過や学んだ内容が分かりやすい板書の工夫
- ・「めあて」「まとめ」「ふりかえり」までが明記され、授業の流れや学びが見えるノート指導の工夫
- ・一人一授業の公開による授業研究
- ・授業の終末で学習内容を振り返り、学んだことを共有する場の設定
- ・児童の実態に応じた言葉掛け、学習方法、教材など、個に応じた支援の工夫

### (2) 学習意欲を高める指導の工夫

・興味を高める導入の工夫

□体験的学習や課題解決的な学習の積極的導入

○自分でよく考える時間の確保

★ペア学習、グループ学習など、相手とコミュニケーションを図る場の設定

- ・目標や内容、個人の理解度に応じた多様な学習形態の工夫  
(習熟度別学習、養護教諭・学校司書・栄養職員とのT・T、企業や行政との連携など)
- ・個人差に応じた自主学習の仕方の支援と奨励

★ICTの活用

### (3) 基礎・基本の徹底

★各教科の基礎的な学習内容や話の聞き方などの繰り返し指導

・朝の学習の時間の効果的・計画的な活用

□適切な分量・内容の宿題による家庭学習の習慣化

・読む時間の確保

### (4) 家庭・地域と連携した学習指導の充実

・「学習チャレンジ週間」の実施による、家庭と連携した学習習慣の定着と意欲の向上

・地域人材を活用した読み語りやふるさと教室（昔の遊び・昔のくらし体験）の実施

★民間企業や行政の出前授業を活用した体験的学習の実施

★ボランティアを活用した活動と支援（ミシン授業補助、校外学習の補助、職業についての話など）

・夏期学習会

・学年・学級懇談会（4・6・2月）

### (5) 地域学校園との関連

★基本的・基本的な学習習慣の育成・徹底

★個人差に応じた適切な指導と援助

★保護者への家庭学習についての継続的な意識啓発活動